

高橋 けいすけ

県議会報告

No. 58	自 宅／山形市高堂1-5-20-3 ☎023-643-4847
2026年1月22日	県議会／県政クラブ執務室 ☎023-630-3211
発行人／高橋啓介県議会議員	



新春のお慶びを 申し上げます。

早いもので、議員生活も36年目に入りました。これからも、吉村県政を支え民主的な県政運営に努めて参ります。

核兵器禁止は世界的潮流 この度の代表質問を準備するにあたり、郷土の代議士の偉大さを学ぶことが出来ました。12月定例議会前に、高市総理が見直しを進めようとしている非核三原則や安保関連3法案そして軍備費の2%の前倒しなどは、日本の行く末を危険に晒すものと言わざるを得ません。特に、日本の国是として戦後一貫してきた非核三原則の見直しは、断じてあってはならない事といえます。ましてや、被爆国として2度と地球上で原爆の悲惨さを繰り返さない決意で、地球上から核を根絶するため被爆者を先頭に弛まない努力が繰り返されてきました。そして、長い年月をかけてようやく「核兵器禁止条約」が、2017年7月にニューヨーク



2026.1.16
新年度予算への県政クラブ要望

あり、世界的潮流は核なき世界をめざしており、国際社会の安全保障からしても「危険な発言」

と感じ、いくら支持率が高くとも「おかしいこととはおかしい」と思い質問の準備に取り掛かりました。

国交正常化を成し遂げた先人の偉業 その中で、米沢市出身の木村武雄（元）代議士の戦中の活躍を知ることができ本当に驚きました。真珠湾攻撃の次の年に、東条内閣が戦時体制強化をめざした法案に誰もが沈黙を守るなか、代議士会で果敢に法案阻止の演説を行ったのが木村武雄代議士との事でした。後に自民党幹事長を務めた保利茂氏が書き残したなかに「政府批判とは、当時の代議士にとって牢獄か、あるいは死を意味してさえいた。ところが、代議士会で、思いがけず木村君の徹底的な反対演説を聞いた…」その後も、抵抗を続けましたが、身辺も危なくなり昭和17年9月に上海の一角に拠点を移し、掠奪された掠奪品の返還や獄中の中国人釈放に奔走。その努力が中国との信頼に結びつき、国交正常化に大きく貢献したと言われています。まさに郷土の誇りと言えるのではないのでしょうか。

戦後80年、「死と隣り合わせ」に生き抜いてきた先人の偉業に学び、日本の行く末が危ぶまれる時、しっかり声を出し「物を言える」環境を作り上げるのが真の民主主義国家と考えます。安心社会の実現に向け、共に頑張って参りましょう。

12月 定例議会

令和7年度12月補正予算の概要 一般会計12月補正予算額 59,743百万円

12月定例議会が行われ、県民・事業者に対する物価高騰対策、防災・減災、国土強靱化等の緊急対策の補正予算が上程され、累計予算額749,137百万円となりました。これまでにない補正額となっています。ただ、物価高騰対策と言われておりますが、バブル期を思わせるような公共事業に87.9%の予算がつぎ込まれています。以下、主な補正の内容を報告致します。

1. 物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援 7,260百万円

(1) 生活者 1,796百万円

- ◎一般家庭等LPガス料金の負担軽減への支援
(2,000円×利用世帯) 579百万円
- ◎低所得世帯への冬季の灯油購入費等の臨時的な支援 188百万円
- ◎市町村がプレミアム商品券等発行事業への支援
(各市町村：1,000円×人口) 1,030百万円

(2) 事業者 5,464百万円

【学校施設】

- ◎私立高校等の物価高騰への支援（生徒数×2,100円） 21百万円
- ◎私立大学・短期大学への支援（学生数×3,000円） 9百万円

【医療機関・社会福祉施設】

- ◎医療機関の物価高騰への支援
(病院、有床・無床・歯科診療所・保険薬局・歯科技工) 366百万円
- ◎社会福祉施設の物価高騰への支援
(高齢者施設、障がい者施設、救護施設及び児童養護施設等) 661百万円
- ◇医療機関の賃上げ・物価上昇への支援 547百万円
- ◇介護職員等の処遇改善への支援 2,271百万円
- ◇介護施設等の食料品購入費等への支援 226百万円

【中小企業等】

- ◎特別高圧利用の中小企業等の電気料金高騰への支援 23百万円
- ◎酒蔵が用いる原料米価格高騰への支援 178百万円
- ◎食品製造事業者への県産加工用米価格高騰への支援 170百万円
- ◎「旅行先25選」インバウンド拡大の情報発信強化 14百万円

【農林水産業】

- ◎施設園芸農業者の燃油価格高騰への支援 93百万円
- ◎物価高騰等で更新が進まないスピードスプレーや導入支援 121百万円

◎畜産農家の飼料価格高騰への支援 714百万円
 その他に漁業や水産そしてきのこ生産関係に対する支援策も盛り込まれています。

2. 防災・減災、国土強靱化の推進（公共事業） 52,483百万円

(1) 土木公共事業 34,257百万円

◇道路（橋等の長寿命化対策、通学路の歩道整備等） 18,364百万円
 ◇河川（最上川水系流域治水の河川整備やダム管理設備の更新等） 10,875百万円
 ◇砂防（砂防えん堤や地すべり防止施設の整備等） 3,248百万円
 ◇都市計画（道路交通環境・防災機能向上のための街路整備等） 856百万円
 ◇港湾（岸壁・臨港道路等の長寿命化対策や防波堤の整備等） 501百万円
 ◇住宅（県営住宅の長寿命化対策） 415百万円

(2) 農林公共事業 18,194百万円

◇耕地（生産効率の向上の区画整理・防災減災のため池整備等） 15,829百万円
 ◇林務（林道の整備、土砂流出に備えた治山工事等） 1,838百万円
 ◇水産（漁港における防波堤の改良、航路の浚渫等） 527百万円

なお、財源としては分担金・負担金として2,712百万円、国庫支出金が34,436百万円、県債として22,591百万円、そして、地方交付税として4百万円が充当されています。

この度の代表質問で取り上げた項目…

- 非核三原則に対する知事の所感について
- 米沢トンネル・両空港の滑走路延長・博物館等の建設・米坂線の復旧・県立学校の建て替え等々大規模事業が予定されている中で、限られた財源の有効活用について
- 県行政の執行体制に占める臨時職員の比率が高まっている課題と改善について
- 指定管理者制度における賃金スライド制について（毎年賃上げが行われているが、指定管理施設はその恩恵を受けていない）
- 医師確保対策について（全国の都道府県で導入されている大学医学部の学生選抜における地域枠定員数が、山形大学では著しく少ないことに対する今後の対応）
- 文化財保存に対する県補助金の在り方について



夜間中学の設置 令和9年4月開校

令和4年2月の代表質問で初めて夜間中学の設置を取り上げ、その後も中国残留帰国者の方と一緒に要請行動なども行って参りました。また、他の議員からも取り上げて頂き、昨年の8月には「夜間中学在り方検討委員会」を設置して検討を重ねてきて頂きました。

その検討結果を受けて、夜間中学の設置の方

向性が12月議会で示されました。本当に良かったと思います。夜間中学校で学んでいる光景を見るにつけ、年配者から若者そ



して外国籍の方など、学ぶ楽しさが伝わってくる思いがしておりました。問題提起

をした当時は、全国的にも15都道府県での設置でしたが、文部科学省の働きかけもあり現在では32の都道府県が設置しております。

開設場所は、学ぶ人々の利便性を考慮して山形駅にある県立霞城学園内に設置する予定となりました。学級数は1学年1学級（33名上限）、夕方以降の時間帯（17時～21時頃）に中学校の課程を学び直せる公立の学校で、授業料や教材は無料、修了すれば中学校卒業資格が得られます。



山形県が米有力旅行メディアで「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に選出！



米有力旅行メディア『ナショナル ジオグラフィック』が2025年10月21日（火）に発表した「Best of the World 2026（2026年に行くべき世界の旅行先25選）」に山形県が選出されました。

山形県は、古くからの伝統と神秘的なアウトドア体験ができる旅行先として選出されています。聖なる山々、静寂に包まれる寺社、フォトジェニックな温泉、四季を通じて各地で開催さ



れる伝統的な祭りなど、混雑を避けて、通年で、古くからの伝統と神秘的なアウトドア体験ができる点が評

価されました。

また、JNTOが2025年9月にアドベンチャートラベルのプロモーションの一環として実



施した東北の招請事業においても、山形県は「自然と文化の融合による唯一無二の魅力がある」と参加した海外旅行会社より高い評価を得ています。こうした旅行会社の評価に加えて今回の米有力旅行メディアによる選出は、山形県の魅力が国際的に評価された証左であると日本政府観光局は紹介しており、本県にとって本当に喜ばしい出来事といえます。



皆様方からの県政に対するご意見をお待ちしております。TEL・FAX 023-643-4847

高橋啓介ホームページ <http://www.keisuke-t.com>

県議 高橋啓介 検索

